

# いばらき生産性向上人材育成事業

## 目的

昨今の急激な環境変化の中、企業が生き残るためには、収益力や付加価値の向上を図るうえで生産性向上及び人材育成が必要です。

当機構では、県内企業の実業性向上を支援するため、藤本隆宏早稲田大学教授・東京大学名誉教授の「良い設計の良い流れ」に基づくプログラムにより、現場改善の入口から定着まで企業のニーズに合わせて伴走支援を実施します。

## 目標

- 企業が一体となって改善活動を行い、生産性向上及び生産リードタイム短縮により付加価値を拡大し、現場の流れを改善
- 経営者及び責任者等を対象に、藤本隆宏早稲田大学教授・東京大学名誉教授の「良い設計の良い流れ」に基づく生産性向上を図るための現場改善の知識や手法を有した人材を育成

## 支援チャート

企業の課題、ニーズに応じて、現場改善の入口から定着まで支援します。

### 1 生産性向上事前支援

|        |  |
|--------|--|
| 課題、ニーズ | ・現場改善をしたいが、どのように進めればよいかわからない。<br>・現場改善の進め方について相談したい。                               |
| 支援内容   | ・機構専門家によるアドバイス<br>・生産性向上の診断支援<br>・専門家派遣による現場支援<br>・「藤本隆宏のものづくり考」YouTube配信<br>・成果事例 |



### 2 いばらき生産性向上人材育成スクール（生産性向上人材育成支援）

|        |   |
|--------|---|
| 課題、ニーズ | 経営者及び責任者等の現場改善における基礎から応用までの能力を身につけたい。   |
| 支援内容   | 経営者及び責任者等を対象に、東京大学ものづくり研究センターの「良い設計の良い流れ」に基づく生産性向上を図るための現場改善の知識や手法を有した人材を育成支援 |



### 3 生産性向上定着支援

#### （1）専門家派遣支援

|        |  |
|--------|--|
| 課題、ニーズ | スクールで学んだことを社内に定着させ、生産性向上を図りたい。                                   |
| 支援内容   | 中小企業エキスパート派遣事業を活用し、生産性向上及び生産リードタイム短縮により付加価値を拡大し、現場の流れの改善を図ることを支援 |

#### （2）IoT、AI、ロボット活用支援

|        |   |
|--------|---|
| 課題、ニーズ | 生産性向上を図るうえで、IoT、AI、ロボットを活用したい。                                  |
| 支援内容   | スクールで学んだ手法で現場改善を行うために、茨城県産業技術イノベーションセンターのセミナー、講座、共同研究、研究会等により支援 |

## お問合せ先

公益財団法人 いばらき中小企業グローバル推進機構 産業振興課

〒310-0801 水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館9階

TEL : 029-224-5317 FAX : 029-227-2586 E-mail : sien@iis-net.or.jp



## 1 生産性向上事前支援

現場改善を行う前やいばらき生産性向上人材育成スクールを受講する前に、現状把握や課題整理を行いたい企業等に対して、企業の希望、ニーズに合わせて支援します。

### (1) 機構専門家によるアドバイス

機構専門家が企業の相談に対してアドバイスをを行い、現場改善の今後の方針、目標設定等の支援。

### (2) 生産性向上の診断支援

中小機構の「生産工程スマート化診断」や茨城県産業技術イノベーションセンターの「見える化支援」により、現場の確認、ヒアリングを通じて、「業務の効率化」「生産工程の見える化」等の具体的な方策を提案、今後の取組みのきっかけづくりを支援。

### (3) 専門家派遣による現場支援

ものづくりインストラクターが現場の確認、ヒアリングを通じて、生産性向上に係る現場改善の方針、目標等の策定を支援。

### (4) 「藤本隆宏のものづくり考」YouTube配信

藤本隆宏早稲田大学教授・東京大学名誉教授の「ものづくり経営学」「良い設計の良い流れ」等についてのYouTube配信による支援。

### (5) 成果事例

これまでに、いばらき生産性向上人材育成スクールを受講した企業における現場改善の成果事例を用いた支援。

## 2 いばらき生産性向上人材育成スクール（生産性向上人材育成支援）

経営者及び責任者等を対象に、藤本隆宏早稲田大学教授・東京大学名誉教授の「良い設計の良い流れ」に基づく生産性向上を図るための現場改善の知識や手法を有した人材を育成します。

**開催期間** 令和4年7月13日（水）～9月22日（木）（20日間）

**内容** 講義：藤本隆宏教授の「良い設計の良い流れ」を理解し、現場改善に必要な知識及び「ものと情報の流れ図」「兆候シート」等の現場改善の基本ツールを学びます。  
実習：講義で学んだことを現場で活用できるように、実際に実習先の現状を把握し、「ものと情報の流れ図」「兆候シート」等の現場改善の基本ツールを活用し、チームで改善活動を行います。

**募集対象** 茨城県内に本社又は事業所を有する企業の経営者及び責任者・リーダー又は候補者  
※業種は問いません。  
現場改善を行う能力を有する人材の候補者であれば、間接部門の方も対象

**募集定員** 16名（最少催行人数12名） ※1社2名まで

**受講料** 25万円（消費税込） ※2人目は20万円（消費税込）  
※厚生労働省の「人材開発支援助成金」を受けることが可能です。ただし、助成金を受給するためには条件がありますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。

**募集締切** 令和4年5月13日（金）

## 3 生産性向上定着支援

### (1) 専門家派遣支援

中小企業エキスパート派遣事業を活用し、スクール受講者を中心に企業が一体となって継続的な改善活動を行える体制を構築し、生産性向上及び生産リードタイム短縮により付加価値を拡大し、現場の流れの改善を図ることを支援します。

### (2) IoT、AI、ロボット活用支援

スクールで学んだ手法で現場改善を行うために、IoT、AI、ロボット活用による設備の稼働状況のデータ収集や改善された現場の見える化等を図るため、茨城県産業技術イノベーションセンターのセミナー、講座、共同研究、研究会等により支援します。

※生産性向上事前支援や生産性向上定着支援については、別途料金が発生するものもございます。